

中国のハイテク産業発展戦略： IC産業と液晶産業の比較

オンライン開催

参加無料

2024年4月16日[火]

14:00-16:00

主催

公益財団法人アジア成長研究所
(北九州市小倉北区大手町11-4 ムーブ6階)

講演概要

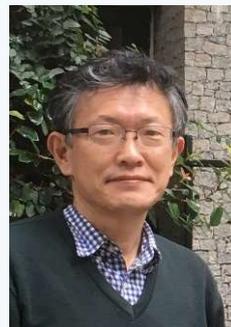
IC(集積回路)と液晶はともに半導体の一種であり、現代の情報社会を支える基盤である。中国は1980年代からICの国産化を目指してきたが、はかばかしい成果が得られなかった。2014年に新たなIC国産化政策をスタートさせたことがアメリカなど先進国の強い警戒感を引き起こし、半導体サプライチェーンにおけるデカップリングのきっかけとなり、欧米や日本でのIC産業政策の復活にもつながった。一方、液晶では中国企業がすでに世界シェア7割に達しているが、その実態はあまり注目されることがない。IC産業、液晶産業はともに中国の政府から手厚い支援を受けているが、政策の内容と成果は大きく異なっている。本報告では二つの産業政策を対比することで、中国の産業政策の構造を立体的に明らかにする。

【使用言語】講演・資料ともに日本語

講師

丸川 知雄 氏 / 東京大学 社会科学研究所 比較現代社会 教授

1964年生まれ。1987年東京大学経済学部卒、アジア経済研究所研究員を経て、2001年より東京大学社会科学研究所勤務。おもな著作に、『現代中国経済』有斐閣、2013年(新版2021年)、『チャイニーズ・ドリーム』ちくま新書、2013年。中国経済経営学会会長やアジア政経学会会長などを歴任。



オンライン(ZOOM)で開催いたします。

※インターネット環境とPCやスマートフォン、タブレットが必要です。

【お申し込み】① 電子申込:<https://forms.gle/k4PEQDtizAUuu3LW6>

② メール申込:メールにて、氏名・所属・電話番号をoffice@agi.or.jpへ送信してください。

①②とも、前日までにご参加用URLをメールでお送りします。(申込×切:4/15(月)午後12時)

